

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	249	現在、外部との触れ合いの場が、町内会開催の敬老会への参加、周辺施設での納涼祭参加、当ホームでの和太鼓の演奏会への招待くらいに限られたものになってきている。また、毎月何かしらの行事を行っているが、ホーム内でのマンネリを解消し、気分転換のためにも、もっと積極的に外にでかけてもいいのではないか。	外部資源を調べ、積極的に取り入れていく。 今まで以上に外に出かける機会を増やしたい。	・社会福祉協議会などから利用できる外部資源を調べ、交流を持つ。 ・地域中学校の職業体験など、外部との接触の機会を積極的に持つ。 ・たくさんの情報をもらえるように周辺施設との交流、市や町内との交流を図る。 ・毎月の行事にもっと外出計画を企画し、実施していく。	12ヶ月
2	27	ご利用者様の状態が年々レベル低下しているという状態を職員が理解していながら、職員一人ひとりの有効なかかわりを共通の介護に結びつけることが出来ていなかった。日常業務の一つの出来事として、時には記録すら残っていない事も度々あった。	ご利用者様とのかかわりの中で得た情報を全職員共有のものとするための意識を持ち、記録・報告する。 また、その情報を元にレベル維持・向上に向けたアプローチを検討・実施する。	・ご利用者様とのかかわりの中で、いつもと違う反応があった時は記録・報告する。 ・職員個々が行って反応の良かったと思われるかかわり(介護)は記録・報告する。 ・毎月のカフェランスの中で必ず全ご利用者様の情報交換ならびに介護検討を行う。 ・ご利用者様全体的なレベル状態を3ヶ月に1度はカンファレンスで評価し、課題検討する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月